

各区地域包括支援センター運営協議会報告

平成26年6月

大阪市 福祉局 高齢福祉課

平成25年度各区地域包括支援センター運営協議会 実施状況

区	第1回	第2回	第3回	第4回
北区	平成25年6月27日	平成25年9月12日	平成26年2月13日	
都島区	平成25年6月6日	平成25年10月2日	平成26年2月27日	
福島区	平成25年6月27日	平成25年10月30日	平成26年3月5日	
此花区	平成25年6月14日	平成25年10月29日	平成26年2月21日	
中央区	平成25年5月28日	平成25年10月3日	平成26年2月21日	
西区	平成25年6月25日	平成25年10月29日	平成26年2月25日	
港区	平成25年6月11日	平成25年9月3日	平成26年3月11日	
大正区	平成25年6月7日	平成25年10月17日	平成26年3月13日	
天王寺区	平成25年6月5日	平成25年10月30日	平成26年2月26日	
浪速区	平成25年6月11日	平成25年9月26日	平成26年2月28日	
西淀川区	平成25年5月31日	平成25年8月29日	平成26年2月27日	
淀川区	平成25年5月30日	平成25年9月20日	平成26年2月26日	
東淀川区	平成25年6月14日	平成25年9月30日	平成26年3月10日	
東成区	平成25年6月19日		平成25年10月30日	平成26年2月26日
生野区	平成25年6月4日	平成25年10月15日	平成26年2月17日	
旭区	平成25年6月7日	平成25年7月29日	平成25年9月27日	平成26年2月17日
城東区	平成25年6月14日	平成25年9月24日	平成26年3月7日	
鶴見区	平成25年6月25日	平成25年8月20日	平成26年2月18日	
阿倍野区	平成25年6月18日	平成25年10月28日	平成26年3月18日	
住之江区	平成25年6月13日	平成25年9月3日	平成26年3月11日	
住吉区	平成25年6月20日	平成25年10月22日	平成26年3月6日	
東住吉区	平成25年6月14日	平成25年9月24日	平成25年12月6日	平成26年3月7日
平野区	平成25年6月27日	平成25年9月26日	平成26年3月20日	
西成区	平成25年6月27日	平成25年8月29日	平成26年2月20日	

平成25年度については同時開催可とし、平成26年度より年4回開催。

平成25年度各区地域包括支援センター運営協議会
 主な意見のまとめ(ネットワーク構築)

区	開催	報告対象者等	主な意見・要望等
北区	6月27日	区運営協議会にて報告 対象者 区運営協議会委員	【ネットワーク構築の取り組みについて】 意見なし
福島区	10月30日	区運営協議会にて報告 対象者 区運営協議会委員	【地域包括支援センターのネットワーク構築に向けての取り組み報告】 ・地域での動きは理解されているが、反応が薄いと考えられる。 ・ふれあい喫茶や食サでは限られた住民への対応になる、また相談を必要とする対象者へのアプローチが必要 ・広報の内容の検討
此花区	10月29日	区運営協議会にて報告 対象者 区運営協議会委員	【ネットワーク構築の取組み報告】 意見なし
中央区	10月3日	区運営協議会にて報告 対象者 区運営協議会委員	【中央区地域包括支援センターにおけるネットワークの構築の取組について】 意見なし
西区	10月29日	区運営協議会にて報告 対象者 区運営協議会委員	【地域支援計画(ネットワーク構築)について】 意見なし
大正区	10月17日	区運営協議会にて報告 対象者 区運営協議会委員	【平成25年度 ネットワーク構築に向けての取り組みについて】 意見なし
淀川区	5月30日	区運営協議会にて報告 対象者 区運営協議会委員	【包括のネットワーク構築に向けての取り組みについて】 意見なし
東淀川区	3月10日	区運営協議会にて報告 対象者 区運営協議会委員	【地域ケア会議やネットワーク構築から見えた課題と取り組みについて】 ・喫茶に来る人に対して活動していても、意味がないのではないか。 ・様々な情報が、独居高齢者にどれだけ届いているのかをしっかりと把握してほしい。
東成区	6月19日	区運営協議会にて報告 対象者 区運営協議会委員	【ネットワーク構築の取組み計画について】 意見なし
生野区	6月4日	区運営協議会にて報告 対象者 区運営協議会委員	【ネットワーク構築の取組み報告と計画】 意見なし

区	開催	報告対象者等	主な意見・要望等
旭区	7月29日	区運営協議会にて報告 対象者 区運営協議会委員	<p>【関係機関とのネットワークづくりの取り組み報告・今後取り組む必要のあるネットワーク構築について(意見交換)】</p> <p>社協包括(大宮北部地域への取り組み) ・なぜ、大宮北部地域に取り組みを限定したのか、現在の取り組みの進捗状況や、具体的に「体操教室に参加」とあるが、どんなものなのか。 大宮北部は市営住宅がほとんどで、包括からも遠い。また大宮地域全体の相談件数が他よりも低い。旭区の特徴として「100歳体操」を地域が運営しているので、連合町会長や女性会長に必要性を話し、協力できるとのことであった。現在滞りなく進んでいる状況である。</p> <p>東部包括(民生委員会との協働しての取り組み) ・東部包括圏域すべて(古市・新森・太子橋・清水)で実施するのか。うまくいっていない地域あれば、区役所として協力する。 月1回の民生委員会に出席できる地域は2地域。これからの地域もある。 個人情報共有になるため、お互いが書面で見守りできるシートを作成する。</p> <p>東部包括(ネットワーク委員会と協働して出張相談所開設までの取り組み) ・ランチも一緒に出張相談会に参加し、対応することで、ランチの役割を住民に知ってもらうことができた。</p> <p>西部包括(事例勉強会の中に民生委員を入れて地域の見守り強化をはかる取り組み) ・見守りシートとは、具体的に、どのようなものか。城北地域の民生委員と一緒にやっていきたい。 地域の支援者が「おかしい」と感じてもらえるようなシート。「新聞がたまっている」「ガスが止まっている」など。</p> <p>今後取り組むべきネットワーク(意見交換) ・民生委員協議会・女性会など、単独な関係機関だけが高齢者の支援団体として取り組んでも、長く続かない。支援団体全体で取り組み、住民組織の福祉力を向上させる必要がある。</p>
城東区	9月24日	区運営協議会にて報告 対象者 区運営協議会委員	<p>【地域支援計画について】</p> <p>意見なし</p>
住吉区	10月22日	区運営協議会にて報告 対象者 区運営協議会委員	<p>【ネットワーク構築の取り組み報告】</p> <p>関連機関との連携 ・病院はどんどん退院させる方向になっている。地域で受け入れていくためにしっかり連携をしてもらいたい。</p>
西成区	6月27日	区運営協議会にて報告 対象者 区運営協議会委員 オブザーバー	<p>【ネットワーク構築の取り組み報告について、認知症等高齢者支援地域連携事業】</p> <p>医療が必要なケースについて、事前に医療相談室に一報あれば円滑に受け入れ可能であること、できるだけ区内で対応できるよう協力するといった意見があった。</p>

平成25年度各区地域包括支援センター運営協議会

主な意見のまとめ(地域ケア会議)

区	開催	主な意見・要望等
北区	2月13日	<p>地域ケア会議で把握した課題と今後の取り組みについて 意見・要望等</p> <p>北区地域包括支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルコールが関連するケースは多いか、 独居でアルコールに溺れているようなケースは少ない。大淀寮のケースも多い。今後も勉強会など連携をお願いする。 ・アルコールや認知症は、適切な医療機関に繋げる必要があると思う。 <p>大淀地域包括支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく分析できている。よい地区資料となるので参考にさせてほしい。 ・結論部分については、少しエビデンスに欠ける。もう少し詳細な分析を行ってほしい。 ・結論部分については、居住年数等と比較するなど、もう少し色々な要因との分析が必要ではないか。 ・独居高齢者の問題は外に見えてこない。連合等の活動や調査との連携が必要。 ・地区診断で北区の医師数が多いとのことであったが医師数については、北区は美容整形の病院が多い。また、ピル診が多く、夜間連絡がとれない。よって往診に行ける医師は多くない。北区医師会では会員250人中20数名。大淀医師会では10数名。十分な数とは言えない状況にある。 ・豊崎東地域に関しては、豊崎東内でも地域差が大きい。大きなスーパーがあり、商店が多い。関西大学のキャンパスもある。キングマンションがありそこには子供がいる。しかし昔から住んでいる人は高齢化している。Sマンションという大きなマンションがあり、住んでいる世帯は高齢化がすすんでいる。連合に入っている人が少ない傾向にあり、マンション内の独自の取り組みはあるけれど、地域との交わりは少ない。高齢者が多いようだが個人情報の関係で把握しにくい。民生委員の見守りがいきとどいていくわけではなく、情報がつかみにくく問題として把握しきれていないことも考えられる。
都島区	2月27日	<p>各圏域における24年度・25年度地域ケア会議報告 (意見・要望等)</p> <p>ケースへの支援に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活保護受給者でなくても、民生委員には、支援の対象と捉えてほしい。 ・地域によっては見守り体制が確立しており、会議に至らず支援出来ているケースもある。 ・地域福祉コーディネーターは、直接見守りを行うだけでなく、地域の情報提供や支援者の発掘に貢献しており、強力な地域の支援者。 ・警察や消防等認知症高齢者に関わる機会が多い機関には、職員への研修等により、認知症理解を深めてほしい。 <p>今後の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護放棄等虐待事例もあり、関係者からの通報の遅れにより問題が深刻化するケースもある。ケアマネ研修でとりあげたい。 ・要介護者をリストアップしている地域もあるが、包括・ランチも含め重層的な互助の仕組み強化が必要。
福島区	3月5日	<p>平25年度に開催した地域ケア会議の報告について 意見・要望等 特になし</p> <p>催した地域ケア会議等から把握した担当圏域内の課題と今後の取組について 意見・要望等</p> <p>地域包括支援センター・ランチの周知活動はやっているが、もっと広く周知することが必要。</p>
西区	2月25日	<p>地域ケア会議から見えてきた課題、今後の取り組みについて検討 (意見・要望等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者割合が多い地区が相談件数も多く地域ケア会議も回数も多いと分かった。実際に住んでいるとそうに感じることがなかった。 <p>包括の啓発・介護保険サービスの利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の利用方法を知らない人も多い。介護保険制度の使い方が分かりにくい。さらに一般の方に知られるようになったらよい。 ・最初のころを思うと包括の認知度変わってきている。啓発に頑張っているがまだ知らない人もいる。さらに包括の啓発を行ってほしい。 ・包括レンジャーで発信している。見守りコーディネーターや民生委員等地域で見守ってもらい、タイミングよく包括に声をかけてもらえると助かる。困っている方が困っていると手を挙げることは少ない。周囲の方が声をあげてもらえると早く対応できる。連携していきたい。 ・マンションが多く、周囲との関係が希薄な方がいる。足腰が弱ると外出しなくなるが、外出しなくても生活できることもあり、さらに希薄になると考えられる。最近では、孤独死の問題もある。都会の方が多いのではないか。 ・何が本人の幸せか...難しい。人としての尊厳を守っていく。独居の方であれば自宅で一人で亡くなってしまふこともあると思うが、長い間発見されないという悲しい結果を少なくしたい。そのためには、地域の方の見守り、声かけが重要。そのような地域になるように支援していきたい。 <p>ケースの共有・個人情報について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の支援困難ケースを地域が知らなくてよいのかと思う。 ・年1回の高齢者の調査。年末の贈り物を渡す際、顔を見て渡すようにしているが、普段見守り活動をしていて亡くなったとずっと後に聞く何故知らせてくれなかったのかと思う。 ・本人が地域の方に伝えることを希望していれば、できるだけご紹介している。本人や家族が近所の方に知られたくないとなると言えないことあり。難しい。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括の苦勞している状況がよくわかった。行政側でも少し強く介入できることはないのか。成年後見制度は時間がかかる。そのあたりが早くできればいいと思う。 ・ケアマネは、包括に相談し地域ケア会議を開いてもらい様々な意見をもらっている。事業所内でケース支援について話し合うが、限られた意見になりがち。違う視点で助言をもらえる。地域ケア会議に至らないケースでも、相談し助言をもらっている。包括は信頼できる存在になっている。 ・介護保険のサービスを利用することで、たくさん人の目が入り虐待の防止になると思う。

区	開催	主な意見・要望等
大正区	3月13日	<p>地域ケア会議のまとめ、各包括の見えてきた課題の報告まとめ (意見・要望等)</p> <p>高齢者権利擁護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者(認知症高齢者)が増えている。高齢者の権利擁護を推進するためにも短期間で成年後見制度を活用できるようにシステム構築が必要。 ・高齢者虐待の認識不足から通報が遅れることから、居宅支援事業所、サービス提供事業所、他関係機関への高齢者虐待防止についてさらに周知が必要ではないか。
天王寺区	2月26日	<p>生成25年度地域ケア会議の報告について (意見・要望等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議ケースの捉え方や複数回地域ケア会議を実施するケースへの複数回目の開始判断のタイミングなど質問して確認 ・意見要望については特になし。
西淀川区	2月27日	<p>地域包括支援センターの地域ケア会議の開催状況とまとめ報告 (意見・要望等)</p> <p>地域と地域包括支援センターとの連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の問題はありますが、地域で協力しようとしている人もいるのでつながれるようがんばってほしい。 ・民生委員協議会に出席するなどして地域と情報共有をしてほしい。 <p>西淀川区の地域課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者の理解が不十分。介護保険サービスの利用がうまくできない。高齢者賃貸住宅の問題。 ・地域包括支援センターの役割の周知がさらに必要。高齢者の金銭管理の問題。介護する家族への支援が必要。 ・地域の方とのネットワーク作りが必要。
東淀川区	3月10日	<p>地域ケア会議やネットワーク構築から見た課題と取り組みについて (意見・要望等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫茶に来る人に対して活動していても、意味がないのではないか。 ・様々な情報が、独居高齢者にどれだけ届いているのかをしっかりと把握してほしい。
東成区	2月26日	<p>地域ケア会議等から把握した課題と今後の取り組みについて (意見・要望等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困難事例で何度も会議をしたり、支援をしていただいていることがよく分かった。 ・地域でもなかなか把握しきれないことも多いが、地域でも気にかけているケースも多い。 ・どう対応したらいいのか分からず、悩んでいるのが実情だ。 ・医師会も積極的に会議にも参加しないといけない。 ・報告様式を統一してもらわないと比較しにくい。
生野区	2月17日	<p>地域ケア会議のまとめについて (意見・要望等)</p> <p>メンバー構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的にどんなメンバーで開催したのか。参加依頼して断られた人はいたのか。 <p>地域ケア会議の事例について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の事例があがっているが、治療を受けていない事例はあったのか。 ・事例にあがっている高齢者は要介護2または3の人が多く、受けるサービスが増えれば、地域ケア会議で検討する必要はなくなるのか。 <p>連携体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者が多いがどれくらい見守りができているのか。どれくらい連携できていれば、支援できるのか。 <p>地域行事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域事業に参加して啓発活動をしているのか？今後もしていくのか。具体的にどんな事を計画しているのか。 <p>認知症の早期発見について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の理解と早期発見等を課題にあげているが、今後はどんな計画をしているのか。 <p>地域ケア会議の回数について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数が包括によって大きく違いがあるが、理由はあるか。 <p>事例について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例の対応について具体的に聞かせて欲しい。 ・事例の中に抱え込み事業所とあるがどんな事業所だったのか
旭区	2月17日	<p>地域ケア会議等で把握した課題および今後の取り組みについて (意見・要望等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議の参加者をどのように決めているのか。 ・個人情報を取り扱うため、そこを担保した上で、包括が、参加者を、相談者などと一緒に決めていく。本人のことを認めている人を入れたいと思っている。 ・解決するまでの期間はどの程度かかるか。 ・ケースによって異なる。ケアマネなどの介護保険に携わる人のみの時に地域の関係者を地域ケア会議に入れることで、スムーズに家族などと連絡取れて終了になる場合もあれば、後見人さんが選任されたあと引き続き生活課題が出て1年以上地域ケア会議が続く場合もある。 ・新たな課題が出たら再度地域ケア会議をおこなうのか。 ・地域ケア会議をおこない、支援者の役割り分担を決める。そしてその役割りを担った方がどのように遂行しているか、例えば1カ月後に再度支援者に集ってもらい進捗状況や解決状況について話し合っている。 ・個別の事例検討を積み重ね、地域の問題として捉えて一緒に解決できるための手法を支援者で考えたい。 ・大宮地区への具体的なアプローチ方法は、ふれあい喫茶、100歳体操、介護予防教室など、地域の事業に参加して、包括がミニ講座を随時おこなう場を得ている。この結果、大宮地域の町会長から認知症に関しての講座を開いてほしいと声も聞こえるため地道に活動した成果と思う。 ・地域の実情を把握するマップとは、どのようなものか。 ・単身者の高齢者、高齢夫婦世帯など、どこにどんな方が住んでいると、わかるようなマップを作ろうと思っている。 ・その中で空き家も印をつけていきたい。 <p>意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症予防の観点で、地域では公的に事業をおこなっているのもっと介入した方がよい。旭区の交流センターも2年継続できるため、連携できる。 ・地域ケア会議をおこなう上で、包括が支援に行き詰ればスーパーバイズ受けるように。 ・地域支援事業の一つでもあるし、国が打ち出しているオレンジプランと並行しておこなってほしい。 ・区としては、困難事例になる前に支援を必要とする人を掘り起こすための一つの指標となる周知チラシを作成した。

区	開催	主な意見・要望等
城東区	3月7日	<p>地域ケア会議について (意見・要望等)</p> <p>地域ケア会議のまとめについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員の居住地域で、金銭管理ができない、また、本人の自覚がない高齢者が増加している。生活に困る場合、資金援助ができることがあるかと質問受ける。 城東区地域包括支援センターより、包括支援センターの機能ではないが、資金援助は、社会福祉協議会の委託事業のことでないか、また、高齢者本人が契約できるなら、あんしんさぼーとの活用、本人自身が判断できないなら、包括支援センターで、成年後見制度の相談を受けていると説明。 包括運営業務委託にかかる評価の審議において、地域ケア会議の応用評価基準について「開催の実施基準を満たしていないと評価されないが、真に必要な事例において会議されているのか」との意見あり。 事務局から、開催回数だけでなく、開催の必要性や参加メンバーが事前に検討されているなど踏まえた上での評価であること説明。
鶴見区	2月28日	<p>地域ケア会議から見えてくる課題について (意見・要望等)</p> <p>鶴見区地域包括支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人情報共有のあり方や活用方法をもっと検討する必要がある。 通勤する事業所の人が多いので、災害時に不利。 団地などでは独居が多く、事業所としても個人情報問題もあり、情報の共有をしたいが難しい。 40～50代の発達障がいへのケースへの支援が見逃されてきた。今の子どもたちは早い段階で発達障がいが見えられて支援の道があるが、 介護保険で地域が分断された。(いい面もあるが) 包括だけでは問題解決がしんどい。専門職をもっと導入してほしい。 <p>鶴見区西部地域包括支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域ケア会議の参加者が偏っているのではないかと。民生委員が全然入っていないのはなぜか。今後声をかける。(包括) 地域の参加者が少ないのではないかと。もっと地域ケア会議を地域に知ってもらう必要があるのではないかと。地域の女性会でもPRしたらいい。 意外と地域の現場の声が吸い上げられていないのではないかと。 地域ケア会議が少ない地域は、問題が地域で解消されているのか。 横堤地区は独居は少ないが虐待ケースが多い。 虐待ケースは認知症のケースが多く、地域から孤立しているケースが多い。 転入者は地域から孤立する傾向がある。地域が声をかけてもなかなか反応がない。地域としても課題。 包括の対応で一番難しいのはどんなケースか。精神疾患のある家族への対応が、時間がかかり難しい。 <p>鶴見区南部地域包括支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 南部圏域では古い文化アパートでの他人による経済的虐待が多い。 アルコールのケースが多いのはなぜか。地域からの相談が多い。 町会は積極的に関わっており、頑張りすぎて相手に嫌われることもある。 CMが遠方で関わりが薄いのではないかと。包括が支援する 地域の歴史からネットワークができていい面だが、他人が入り込むのは悪い面。昔は生活の付き合いがあったが、今はない。 地域と事業所の交流会を企画している。 地域ケア会議を個別だけではなく圏域単位でも開く必要がある。圏域でグループワークやシンポジウムをしてはどうか。 アルコール疾患について、もっとくだけた話をしたほうが理解につながる。
阿倍野区	3月18日	<p>地域ケア会議について・平成25年度地域ケア会議等で把握した課題と今後の取り組みについて (意見・要望等)</p> <p>支援困難の要因について</p> <ul style="list-style-type: none"> 事例困難ケースは解決しているのか。 長い間支援が必要なケースもある。解決が難しいが、複合した課題がある場合は少しずつ解決に向けている。 要援護者が避難の場所や福祉避難所などの情報を知る機会がない。 阿倍野区では要援護者名簿を作成している。7月～12月末で1,100件登録。来年度も継続していく。いろんな団体との協力が必要になっている。民生委員も75歳以上の独居高齢者に見守りカードを配布している。最初は近くの公園に逃げる。最終的には学校へ避難することを勧めている。保険証や懐中電灯など持出できる体制を整えている。 新聞をとっていない人が増えているので孤立死などの発見がし辛くなっている。 ヤクルトの方に気になる方がいれば一報入れてもらったり、郵便局の方にはポストに詰まっている方を連絡してもらおうよう依頼している。 いわゆるごみ屋敷問題、ライフラインとの連携について、平成26年3月1日から条例が施行された。福祉局が新聞、電気、ガス、水道と協定を結んでいる。郵便局とも調整中。 孤立死のケースが平成25年度数件あった。1ケースは近隣と挨拶もなく、ゴミ出しもしない方なので発見が遅れたが、後から交番の方がしている方だったと言うことが分かった。交番の方と連携できたいたら包括も把握できたいたかもしれないと反省する。 警察との情報共有や見守り依頼が必要。本人発見するには兆しを知ることが大事。大阪ガスや関電、住宅関係、郵便局の方が入った会議も必要ではないかと。伝える関係づくり。子どもからお年寄りまで安心して過ごしてもらえる環境づくり、関係づくりが必要。 精神疾患を抱えているケースは対応が難しい。介入拒否が多い。その場合の対応方法について知りたい。 自傷他害のケースは24条通報で同意入院をしたり、犯罪や責任能力が問われる場合は警察官通報25条で対応している。 ライフラインとの連携では結果が出るまでに時間がかかる。食事宅配の方法で確認する方法もあるのでは。 配食は希望もあるので介入拒否のケースは配食も難しい。大阪市が配食サービスを民間事業者を増やし、利用できる人も介護認定を受けている人にするなど制限がある。地域での配食サービスや会食会に参加できるように孤立化をふせぐ工夫が必要。配食サービス利用者で訪問時倒れていて他受けたケースもあった。 孤立死については見守りながら異常に気付くタイミングが必要。扉を壊す場合の確認、家族に連絡とれない場合の対応が判断難しい。親族の確認をとるまでに時間がかかったり、連絡先が分からないケースもある。 消防は自宅の入れるところを探し、窓ガラスを破壊したり、マンションの場合は管理人に確認している。ガス臭あれば緊急性があるので即行使。警察は即時強制の見極めとして、「臭い」というのがある。 扉を破壊した時などは補償はない。いざと言う時は警察、消防へ相談してほしい。医療機関から通院していないのに気になる人を見に行きたくてほしいと相談があった。警察やレスキューを呼んで助かったケースがあった。

区	開催	主な意見・要望等
住之江区	3月11日	<p>地域包括支援センター地域ケア会議等から把握した担当に機内の課題と今後の取組みについて報告と検証 (意見・要望等)</p> <p>住之江区地域包括支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で相談があり動くときは、必ず包括や町会長や民生委員と一緒に訪問等を行っている。最近地域でも情報が入りにくいので広報等心がけている。 ・参加者の中の医療関係者とは、包括によって医療関係者参加の多少がみられる。医療関係者に声をかけにくいのか、呼ぶ必要がないのか、声をかけにくいのであれば医療側も今後対策を考えなければと思っている。先生方にもっと地域、福祉の現場に出てもらいたいと思っている。現場としてはどう感じているのか。 ・金銭管理について、あんしんさぼーとにつなぐまでケアマネも行き、困っている。一時的な預かり等すすんで、いることはあるのか。ケアマネが行うのと包括が行うのとでは違いがあると思う。システム化してほしい。 <p>ささしま地域包括支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他包括に比べて、1回の参加人数の多さ、多職種の参加を依頼している点が目立つ。本人を支えるための方を考えて行われている。また、ランチと共に長い目で支えている状況もわかる。どの包括も、高齢者と障がいを持つ方との世帯の支援が多い。 ・地域ケア会議に参加して思ったのは、介護保険の側からの視点であること。完全アウェイ。「家族に障がいのある方がいることが問題」と捉えられてしまう様に感じる。今回は、包括がソーシャルワークに徹していただいた。制度で問題を解決するのではなく、家族単位で支援者を招集し総力を結集して問題の解決に向けて行ってくれた。 <p>安立・敷津浦地域包括支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あんしんいきいきマップ」とてもいい。先日、居住地域で防災訓練を行ったが、長く住んでいる高齢者も慣れた道以外はよく知らず避難に10分の距離も30分ほどかかった。ゼヒマップを活かして避難訓練をしてほしい。 ・先日、河川氾濫の警報が出たが、大和川に近い地域であり、地域の方との活動の中で、生まれたマップなのではと思う。先日大雪で1日ニュートラムが止まった。右いや川に近い地形なので、防災の視点は不可欠。 <p>加賀屋・粉浜地域包括支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加賀屋粉浜包括は「地域包括支援センター運営推進会議」を地域の方と一緒に地域について考える機会をもっている。密な関係を作っているからこそ、今回の事例も相談を受けたのだろうと思う。包括は介護保険制度のみならず、全体の支援をしていく力を身につける必要がある。各包括の地域には特徴があり、考えて活動をしていただいている。
住吉区	3月6日	<p>地域ケア会議とは・地域ケア会議の実際・各包括支援センター・地域ケア会議のまとめ等・住吉区全域から見た地域課題 (意見・要望等)</p> <p>高齢者の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各包括支援センターのケア会議のまとめは高齢者の課題であるがせっかく取りまとめた課題を行政施策に反映できる場がない。
東住吉区	3月7日	<p>地域包括支援センターから地域ケア会議報告 (意見・要望等)</p> <p>東住吉区地域包括支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つながりノートの取り組みはまだ検討中ではあるが、支援者間の情報共有ができて良い一方、個人情報の保護等でデータベース化が難しい。 ・災害援護者リスト等、地域が持っているデータの反映は難しい。 ・支援ニーズがある人の情報共有は必要であり、課題である。 <p>東住吉北地域包括支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域連携を深めるため、多様な関係者への個別訪問等とりくんでおられる姿勢はいい。 <p>中野地域包括支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小地域ケア会議の取り組みは、支援者間を多面的につないでいく取り組みで非常にいい。 <p>矢田地域包括支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括が取り組むべき課題を非常にうまくまとめている。ネットワークの構築がうまくできている。 <p>他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉コーディネーターとの連携はよくとられている。 ・地域支援の担い手としてコーディネーターが重要と言われる一方、民生委員があまりでない。 ・地域によって、要援護者に関わる支援者の名称、取り組みが個々に違うのがわかった。 ・歯科衛生士、薬剤師等の専門職が知りえた要援護者の情報をどこに言えばいいか悩むことがある。包括の役割をパンフレット、シール等の作成で広めていくことも必要。 ・会議に出てくる一部の専門職やボランティアが所属に戻った時、伝達していくことも重要。 ・介護保険法改正で医療と介護の連携がより求められるようになる。そのネットワーク作りは包括に期待されている。
西成区	2月20日	<p>地域ケア会議のまとめについて (意見・要望等)</p> <p>地域ケア会議のまとめについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括が開催してきた「個別ケース検討のための地域ケア会議」により見えてきた高齢者の課題をまとめて分析・検討する「地域課題検討のための地域ケア会議」を26年度開催予定しているので、参加要請があれば協力をお願いしたい旨事務局から提案した。 <p>医療と介護の連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療報酬制度改正や介護保険法改正により医療機関入院患者の退院を促進させ、在宅生活に重点を置く動きがある。医療機関の立場から、医療機関相談室と地域包括との連絡会があれば高齢者支援を継続的に行うことができるのではないか。

「地域ケア会議から見えてきた課題」について

各区地域包括支援センター運営協議会からの集約

1 認知症高齢者支援の課題

- 地域ケア会議を開催する必要がある支援困難ケースの半数以上（6～9割）が、認知症状を有する高齢者である
- 認知症状についての知識と理解不足から本人や介護者家族が認知症状を認めない場合は、介入時には問題が深刻化している傾向がある
- 判断能力が低下しているため多くのケースが金銭管理支援が必要であるが、あんしんさぼーと事業や成年後見制度利用のための手続きに手間と時間がかかるため、制度に繋がるまでの期間は金銭管理ができず高齢者の権利を守りにくい
- 認知症ケースは支援困難な状況になって初めて相談があがってくることが多く、周辺症状を呈する場合は近隣地域とのトラブルになって孤立している傾向にある

2 独居高齢者支援の課題

- 地域ケア会議を開催する必要がある支援困難ケースの約半数が、一人暮らしの高齢者である
- 支援困難となっている独居高齢者は地域とのつながりを望まず、家族がいる場合でも疎遠になっている傾向がある

3 高齢者虐待ケース

- 高齢者虐待ケースの多くは認知症状を有し、虐待者が周辺症状に対する介護負担や認知症状の理解不足から虐待に至ることが多い
- 虐待者自身に何らかの疾病や障がいを抱えていることが多く、虐待者が子どもの場合も同時に経済的にも生活全般においても高齢者に依存傾向が強い
- 何らかの障がいを有する虐待者自身を支援をする担当機関が明確でないことが多く、包括がやむをえず支援するケースでは負担が大きい
- 本来の高齢者虐待防止法で対応できないケース（虐待者が養護者でない、D ケースなど）は、対応に苦慮する

4 複合課題ケース

(1) 支援拒否（セルフネグレクト）ケース

- 本人に病識がないなどで支援や治療を拒否するケースは、適切な支援に結びつかず不衛生な環境や被害的な傾向が強く接近困難ケースとなる
- この場合は、支援者との信頼関係づくりや地域での見守り支援という長期的な関わりが必要であり、地域でも孤立している傾向がある

(2) 家族支援が必要なケース

- 家族に経済的問題などの生活課題や何らかの疾病や障がいを有する場合は、支援困難ケースとなることが多い。その場合は、生活保護ケースワーカー等の行政機関や医療機関との連携が必要であるが、有機的な連携がとりにくいケースがある
- 障がい者支援機関（特に精神障がい者支援機関）は、本人が支援を望まない場合や診断がついていないと支援できない
- 家族が何らかの課題を抱える場合の多くは、保健分野の保健師や精神保健福祉相談員等の行政機関とも連携した支援が必要であるがそのしくみができていない

5 その他

- アルコール依存の課題
- キーパーソン不在や介護サービス事業者が抱えこむことからの支援の遅れ

平成26年度各区地域包括支援センター運営協議会(第1回) 実施状況

区	開催日時・場所	議題
北区	平成26年5月22日(木) 北区役所 301会議室	平成25年度事業報告 平成26年度事業計画及び予算案について 平成25年度地域包括支援センター並びに総合相談窓口(ランチ)の自己評価について 「区の支援に関するチェックシート」での振り返りの報告
都島区	平成26年5月15日(木) 都島区役所 第4・5会議室	1 地域包括支援センターの運営状況と今後の取組みについて 2 総合相談窓口の運営状況と今後の取組みについて 3 意見交換
福島区	平成26年5月30日(金) 福島区役所 501会議室	・福島区地域包括支援センター平成25年度事業実績及び自己評価について ・福島区地域包括支援センター平成26年度事業計画について ・下福島地域総合相談(ランチ)平成25年度事業報告及び自己評価、平成26年度事業計画について ・野田地域総合相談(ランチ)平成25年度事業報告及び自己評価、平成26年度事業計画について ・地域包括支援センター等に係る区の支援に関するチェックシートの振り返りについて
此花区	平成26年5月20日(火) 此花区役所 3階 講堂A	・平成25年度事業報告 ・平成25年度自己評価報告 ・平成26年度予算 ・平成26年度事業計画 ・「区の支援に関するチェックシート」について
中央区	平成26年5月29日(木) 中央区役所 601会議室	・平成25年度事業報告について ・平成25年度自己評価結果について ・平成26年度事業計画について ・平成26年度課題対応取組み計画について ・区運営協議会について ・「地域包括支援センター等に係る区の支援に関するチェックシート」での振り返り報告について ・その他
西区	平成26年5月13日(火) 西区役所 401会議室	・平成25年度事業報告(西区地域包括支援センター、花乃井総合相談窓口) ・平成26年度事業計画(西区地域包括支援センター、花乃井総合相談窓口) ・地域包括支援センター等に係る区の支援について ・市運営協議会報告(抜粋) ・その他
港区	平成26年5月13日(火) 港区役所501・502会議室	・平成26年度事業計画承認 ・平成25年度事業報告、自己評価結果の承認 ・「区の支援に関するチェックシート」での振り返り報告の承認
大正区	平成26年5月29日(木) 大正区保健福祉センター 3階 集団検診室	1)平成25年度大正区北部地域包括支援センター事業報告・自己評価について 2)平成25年度総合相談窓口(ランチ)事業報告・自己評価について 3)平成26年度大正区北部地域包括支援センター事業計画について 4)平成26年度総合相談窓口(ランチ)事業計画について
天王寺区	平成26年5月14日(水) 天王寺区役所 502会議室	・区地域包括支援センター運営協議会実施マニュアルの変更点について ・25年度地域包括支援センターの運営状況について ・25年度総合相談窓口(ランチ)の運営状況について ・26年度地域包括支援センターの事業計画について ・26年度総合相談窓口(ランチ)の事業計画について ・「地域包括支援センター等に係る区の支援に関するチェックシート」について(報告)
浪速区	平成26年5月29日(木) 浪速区役所 704会議室	(1)平成25年度浪速区地域包括支援センター運営状況について (2)平成25年度浪速区地域包括支援センター自己評価票について (3)平成26年度浪速区地域包括支援センター事業計画について (4)浪速ランチについて (5)日本橋ランチについて (6)難波ランチについて (7)その他
西淀川区	平成26年5月22日(木) 西淀川区役所 1階 101・ 102会議室	・平成25年度地域包括支援センター事業報告 ・平成26年度地域包括支援センター事業計画 ・総合相談窓口(ランチ)の運営状況について ・地域包括支援センター等にかかる区の支援に関するチェックシート

平成26年度各区地域包括支援センター運営協議会(第1回) 実施状況

区	開催日時・場所	議題
淀川区	平成26年5月7日(火) 淀川区役所 501会議室	1. 平成25年度淀川区地域包括支援センター事業実績及び各総合相談窓口(ランチ)事業実績について 平成26年度淀川区地域包括支援センター事業計画及び総合相談窓口(ランチ)事業計画について 2. 平成25年度淀川区東部地域包括支援センター事業実績及び総合相談窓口(ランチ)事業実績について 平成26年度淀川区東部地域包括支援センター事業計画及び総合相談窓口(ランチ)事業計画について 3. 平成25年度淀川区西部地域包括支援センター事業実績について 平成26年度淀川区西部地域包括支援センター事業計画について 4. 平成25年度淀川区南部地域包括支援センター事業実績について 平成26年度淀川区南部地域包括支援センター事業計画について
東淀川区	平成26年5月22日(木) 東淀川区在宅サービスセンター	(1) 平成25年度各地域包括支援センター事業報告 (2) 平成25年度各総合相談窓口(ランチ)事業報告 (3) 平成26年度各地域包括支援センター事業計画・改善計画 (4) 平成26年度各総合相談窓口(ランチ)事業計画
東成区	平成26年5月23日(金) 東成区役所 地下102・103 会議室	・委員の選任と委員長選任 ・地域包括支援センターおよびランチの事業計画と収支予算について ・地域包括支援センターおよびランチの事業報告と自己評価について ・区の支援に関するチェックシートについて
生野区	平成26年5月14日(水) 生野区役所 6階 大会議 室	(1) 前年度事業報告 (2) 本年度事業計画
旭区	平成26年5月23日(金) 旭区保健福祉センター 分 館 多目的室	(1) 平成25年度地域包括支援センターにおける事業報告及び平成26年度事業計画について (2) 平成25年度総合相談窓口における事業報告及び平成26年度事業計画について (3) その他
城東区	平成26年5月28日(水) 城東区社会福祉協議会 多目的室	・地域包括支援センター平成25年度活動報告・評価、地域支援計画報告および総合相談窓口平成25 年度活動報告・評価 ・地域包括支援センター平成26年度活動計画、地域支援計画および総合相談窓口平成26年度活動計 画 ・その他
鶴見区	平成26年6月3日(火) 鶴見区役所4階402会議 室	・平成25年度鶴見区における地域包括支援センター事業報告等 ・平成26年度鶴見区における地域包括支援センター事業計画等 ・地域総合相談窓口(ランチ)事業報告・事業計画
阿倍野区	平成26年5月12日(月) 阿倍野区役所 第1・2会議 室	(1) 区地域包括支援センター運営協議会実施マニュアルについて (2) 平成25年度阿倍野区地域包括支援センターの運営状況(事業報告)自己評価、平成26年度事業 計画について (3) 平成25年度阿倍野区総合相談窓口(ランチ)の事業報告自己評価、平成26年度事業計画につい て (4) 地域包括支援センター等に係る区の支援に関するチェックシートでの振り返り報告
住之江区	平成26年5月9日(金) 住之江区役所	(1) 地域包括支援センターの運営状況の評価・検証 (2) 総合相談窓口にかかる評価・検証 (3) 地域包括支援センター等に係る区の支援に関する振り返り(報告)
住吉区	平成26年5月15日(木) 住吉区役所 第一会議室	平成25年度 事業実績報告・自己評価・清算報告など 質疑応答 平成26年度 事業計画など 質疑応答 地域包括支援センター等に係る区の支援に関するチェックシート
東住吉区	平成26年5月28日(水) 東住吉区社会福祉協議会 3階会議室	・地域包括支援センター・ランチ活動紹介 ・25年度地域包括支援センター・ランチ運営状況 ・地域包括支援センター等に係る区の支援に関するチェックシート ・26年度運営協議会の進め方 ・情報交換
平野区	平成26年5月22日(木) 平野区役所1階研修室	(1) 平成25年度事業報告及び平成26年度事業計画について (2) 地域包括支援センター等に係る区の支援に関するチェックシートの報告
西成区	平成26年5月30日(金) 西成区役所4階 4-8会議 室	・認知症等高齢者支援地域連携事業『ほっと! ネット西成』の取り組みについて ・各地域包括支援センターの平成25年度事業報告・平成26年度事業計画(案)について ・あいりん地域における地域包括支援センターについて

各区運営協議会での意見

項目	意見	区
平成26年度の事業計画の承認	・地域ケア会議を決められた回数にこだわらず、必要時開催をしてほしい。	北区
	・男性が地域デビューしやすいような、楽しい取組みを検討して欲しい。	都島区
	・住民への情報の伝達方法が課題。チラシの回覧が効果的だが、町会加入率は年々減少し、最近では約半数が加入していない状態では、配布方法に検討が必要。	都島区
	・介護費は、医療費に比べ非常に伸びている。ケアマネジャーとなってもその後のトレーニングがとても大切。包括もケアマネジャーのレベルアップに努めてほしい。	中央区
	高齢者が増加していく中で、地域特性にあった展開を進めていく必要性はあるが、医師会・介護事業所・民生委員会との連携を4包括バラバラではなく合同で動くことも必要になる。	淀川区
	救急カプセル・つながりノート等、一包括の取り組みで終わるのでなく良い取り組みは区全体に広げてほしい。	東住吉区
	高齢者のイベントは女性が多く、男性の行き場がないか乏しいので、改善策を考えていただきたい。	東住吉区
	他職種連携の職種を明確化していく必要がある	旭区
	地域活動協議会への参加を期待している	旭区
平成25年度の事業報告の承認	・利用者等からの苦情も、あれば報告してはどうか。	都島区
	男性介護者は50～60歳代の方が増えており、他人へ質問することが苦手な方が多い。介護保険についての講座や男性介護者への講座を他の地域でも開催してほしい。	住吉区
平成25年度の自己評価結果の報告の承認	認知症と高齢者虐待は表裏一体である。本人はもとより、養護者のサポートは非常に大切と思う。	中央区
「区の支援に関するチェックシート」での振り返りの報告		
その他	「福島区お助けネット」について、地域の団体等への説明を行うなど、事業や内容などについて周知をもっと広く行ってほしい。	福島区
	各包括は介護者会とも連携を図り、介護者同士が交流できる機会を増やすようにしてほしい。「認知症の方の介護者」等グループ分けしてもよいのではないか。	鶴見区
	・10代の若い世代にも認知症について知ってもらうことは大切なので、今後周知の機会を設けることができればよい。	鶴見区
	支援を必要とする高齢者の把握が困難である。特に、町会に加入していないマンションへの介入は課題。	阿倍野区
	高齢者の金銭管理の課題について、マニュアルを区独自で作成してほしい。	住之江区
	包括・ランチは家族をいかにうまくまきこめるかが大事であり、認知症対応の支援機関として期待している。	東住吉区
	・各包括が多くの資料を用意し、時間をかけて運協で協議した結果を市へ報告するが、それを受けて市の運営協議会が答えや意見を区に下ろしてほしい。他区での運協の内容や意見をまとめてフィードバックしてほしい。	平野区
	コンビニでのサポーター養成講座の開催は、アルバイトスタッフなどが多いので難しいが、周知や連携をしていく必要がある。	平野区
	・地域からの通報がほとんどなく、虐待の認識が普及していないと思われる。成年後見と合わせて、周知を図っていく必要がある。	平野区
	・包括的ケアを行っていくことが包括の役割。区としての方針がないためか、各包括が記載している内容が主体的でないように思われる。区としての方針を出してほしい。	平野区
	包括や委員から人員配置基準について、平成18年の包括立ち上げ時の現在の大阪市基準でなく西成区の特徴(生活保護受給者数が多い、単身高齢者が多い、精神疾患をはじめとする難治性慢性疾患を有する患者が多い等)考慮したものにすべきとの意見が多数あったので配置基準の見直しについて要望したい。	西成区

各地域包括支援センター実施体制(平成26年6月1日現在)

	包括的支援業務担当職員								指定介護予防支援業務専従職員					その他事務職員	合計	介護予防支援の包括作成数 (平成26年4月分)	介護予防支援の一部 委託事業所作成数 (平成26年4月分)	包括的支援業務担当職員 一人当たり平均実施件数 (平成26年4月分)	
	保健師等	配置基準	社会福祉士	配置基準	主任介護支援専門員	配置基準	合計	配置基準	保健師等	社会福祉士	主任介護支援専門員	介護支援専門員	合計						
																			人数
合計	75.0	72.0	128.9	100.5	112.3	123.0	316.2	295.5	2.5	11.7	4.9	115.6	134.8	35.8	486.7	9,396	23,672	9.1	
1-1	北区 地域包括支援センター	2	1.0	2	1.5	1	2.0	5	4.5			1.0	0.5	1.5	1.0	7.5	137	459	9.2
1-2	北区大淀 地域包括支援センター	1	1.0	3	1.5	1	2.0	5	4.5				2.0	2.0		7.0	84	516	2.8
2-1	都島区 地域包括支援センター	1	1.0	3	1.5	1	2.0	5	4.5				1.8	1.8	0.9	7.7	124	396	6.2
2-2	都島区北部 地域包括支援センター	1	1.0	2	2.0	2	2.0	5	5.0				2.0	2.0		7.0	208	349	15.6
3	福島区 地域包括支援センター	1	2.0	1	2.0	4	2.0	6	6.0				3.0	3.0	0.6	9.6	183	468	10.7
4-1	此花区 地域包括支援センター	1	1.0	1	1.0	2	2.0	4	4.0		1.0			1.0	0.8	5.8	61	255	1.8
4-2	此花区南西部 地域包括支援センター	1	1.0	2	1.5	2	2.0	5	4.5				1.0	1.0		6.0	68	282	0.0
5-1	中央区 地域包括支援センター	1	1.0	1	1.5	2	2.0	4	4.5				1.0	1.0	0.6	5.6	159	243	14.6
5-2	中央区北部 地域包括支援センター	1	1.0	2	1.0	1	1.5	4	3.5				1.0	1.0	0.3	5.3	88	218	8.5
6	西区 地域包括支援センター	2	2.0	2	2.0	2	2.0	6	6.0				3.0	3.0	0.5	9.5	148	497	2.3
7-1	港区 地域包括支援センター	1	1.0	4	2.0	1	2.0	6	5.0		1.0			1.0	1.0	8.0	81	343	11.4
7-2	港区南部 地域包括支援センター	1	1.0	3	1.5	1	2.0	5	4.5					0.0		5.0	62	269	12.4
8-1	大正区 地域包括支援センター	1	1.0	3	2.0	1	1.0	5	4.0				0.5	0.5	0.5	6.0	52	313	10.0
8-2	大正区北部 地域包括支援センター	1	1.0	2	2.0	2	2.0	5	5.0				2.0	2.0	0.5	7.5	147	252	10.2
9	天王寺区 地域包括支援センター	3	1.5	1	2.0	2	2.0	6	5.5				2.5	2.5	1.5	10.0	156	481	3.8
10	浪速区 地域包括支援センター	1	1.0	1.5	1.0	2	2.0	4.5	4.0		0.5	1.0	2.0	3.5	1.0	9.0	248	562	9.0
11-1	西淀川区 地域包括支援センター	1	1.5	2	2.0	3	2.0	6	5.5				2.0	2.0	1.0	9.0	160	458	5.5
11-2	西淀川区南西部 地域包括支援センター	1	1.0	2	1.5	2.9	2.0	5.9	4.5				2.0	2.0		7.9	167	309	12.3
12-1	淀川区 地域包括支援センター	1	1.0	2	1.5	2	2.0	5	4.5				2.0	2.0	0.9	7.9	168	367	8.0
12-2	淀川区東部 地域包括支援センター	1	1.0	1.8	1.5	2	2.0	4.8	4.5				1.0	1.0	0.6	6.4	93	384	10.0
12-3	淀川区西部 地域包括支援センター	1	1.0	1	1.0	1	1.0	3	3.0				2.0	2.0		5.0	130	132	6.3
12-4	淀川区南部 地域包括支援センター	1	1.0	2	2.0	2	2.0	5	5.0				2.0	2.0	1.0	8.0	149	328	4.0
13-1	東淀川区 地域包括支援センター	1	1.0	2	2.0	2	1.5	5	4.5		1.0		1.0	2.0	0.5	7.5	133	232	7.0
13-2	東淀川区北部 地域包括支援センター	1	1.0	3	2.0	1	2.0	5	5.0		0.8		1.3	2.1		7.1	120	442	5.8
13-3	東淀川区南西部 地域包括支援センター	1	1.0	2	2.0	1	1.0	4	4.0				3.0	3.0		7.0	190	304	10.0
13-4	東淀川区中部 地域包括支援センター	1	1.0	1	2.0	2	1.0	4	4.0				3.0	3.0		7.0	161	186	6.5
14-1	東成区南部 地域包括支援センター	1	1.0	2	1.5	2	2.0	5	4.5		1.0		2.0	3.0	1.0	9.0	153	456	14.0
14-2	東成区北部 地域包括支援センター	1	1.0	2	1.5	2	2.0	5	4.5				2.0	2.0	1.0	8.0	139	375	11.8
15-1	生野区 地域包括支援センター	2	1.0	1	1.5	2	2.0	5	4.5	2.0	1.0	2.0		5.0	0.6	10.6	5	483	1.0
15-2	東生野 地域包括支援センター	1	1.0	2	1.5	2	2.0	5	4.5				2.0	2.0	1.0	8.0	173	317	14.0
15-3	鶴橋 地域包括支援センター	1.5	1.0	2	1.0	1	2.0	4.5	4.0				1.5	1.5		6.0	105	311	12.8
15-4	巽 地域包括支援センター	1	1.0	1	1.0	2	2.0	4	4.0					0.0		4.0	60	388	20.0

各地域包括支援センター実施体制(平成26年6月1日現在)

		包括的支援業務担当職員								指定介護予防支援業務専従職員					その他事務職員	合計	介護予防支援の包括作成数 (平成26年4月分)	介護予防支援の一部 委託事業所作成数 (平成26年4月分)	包括的支援業務担当職員 一人当たり平均実施件数 (平成26年4月分)
		保健師等	配置基準	社会福祉士	配置基準	主任介護支援専門員	配置基準	合計	配置基準	保健師等	社会福祉士	主任介護支援専門員	介護支援専門員	合計					
人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	換常算勤	換常算勤	換常算勤	換常算勤	常勤換算	換常算勤						
16-1	旭区 地域包括支援センター	1	1.0	2	1.0	1	2.0	4	4.0				2.5	2.5	0.5	7.0	124	361	2.0
16-2	旭区西部 地域包括支援センター	1	1.0	1.8	1.0	1	1.5	3.8	3.5				1.0	1.0	0.2	5.0	92	252	10.0
16-3	旭区東部 地域包括支援センター	1	1.0	2	2.0	2	2.0	5	5.0				3.0	3.0		8.0	196	467	4.2
17-1	城東区 地域包括支援センター	1	1.0	3	1.5	1	2.0	5	4.5				1.0	1.0	0.7	6.7	97	434	7.6
17-2	城東・放出 地域包括支援センター	1	1.0	2	2.0	2	2.0	5	5.0					0.0	1.0	6.0	85	366	17.0
17-3	城陽 地域包括支援センター	1	1.0	3	2.0	1	2.0	5	5.0				1.2	1.2	0.7	6.9	153	273	12.0
17-4	董・鯉江東 地域包括支援センター	1	1.0	2	1.5	2	2.0	5	4.5				2.0	2.0		7.0	183	346	14.2
18-1	鶴見区 地域包括支援センター	1.5	1.0	2	1.0	1	1.5	4.5	3.5	0.5			2.0	2.5	1.0	8.0	109	226	11.3
18-2	鶴見区西部 地域包括支援センター	1	1.0	2	1.5	1.5	2.0	4.5	4.5				2.0	2.0		6.5	167	186	1.5
18-3	鶴見区南部 地域包括支援センター	1	1.0	1	1.0	1.5	1.5	3.5	3.5				1.5	1.5		5.0	112	141	4.8
19-1	阿倍野区 地域包括支援センター	2	1.0	1	2.0	2	2.0	5	5.0				2.5	2.5	0.5	8.0	213	378	15.0
19-2	阿倍野区北部 地域包括支援センター	1	1.0	2	1.0	1	2.0	4	4.0				1.0	1.0		5.0	119	335	16.0
19-3	阿倍野区中部 地域包括支援センター	1	1.0	2	1.0	1	2.0	4	4.0				1.0	1.0		5.0	137	256	15.5
20-1	住之江区 地域包括支援センター	1	1.0	2	1.5	2	2.0	5	4.5				2.0	2.0	0.6	7.6	48	475	5.6
20-2	さきしま 地域包括支援センター	1	1.0	1	1.0	1	1.0	3	3.0		0.6		2.0	2.6		5.6	148	104	5.3
20-3	安立・敷津浦 地域包括支援センター	1	1.0	2	1.0	1	1.5	4	3.5				1.0	1.0	0.5	5.5	116	272	17.5
20-4	加賀屋・粉浜 地域包括支援センター	1	1.0	1	1.5	3	2.0	5	4.5		1.0		2.1	3.1	0.5	8.6	201	344	11.4
21-1	住吉区 地域包括支援センター	1	1.0	2	1.5	2.4	2.0	5.4	4.5				2.0	2.0	1.0	8.4	178	416	9.7
21-2	住吉区北 地域包括支援センター	1	1.0	2	1.5	2	2.0	5	4.5				2.0	2.0	0.8	7.8	174	472	15.0
21-3	住吉区東 地域包括支援センター	1	1.0	1	1.0	2	2.0	4	4.0				2.0	2.0	1.0	7.0	163	373	15.8
21-4	住吉区西 地域包括支援センター	1	1.5	2	1.0	2	2.0	5	4.5		1.0		1.0	2.0	1.0	8.0	171	479	14.8
22-1	東住吉区 地域包括支援センター	2	1.5	2	2.0	2	2.0	6	5.5					0.0	1.0	7.0	76	625	12.7
22-2	矢田 地域包括支援センター	1	1.0	2	1.0	1	1.5	4	3.5				2.6	2.6		6.6	120	411	3.3
22-3	中野 地域包括支援センター	1	1.0	2	2.0	2	2.0	5	5.0				2.5	2.5	0.6	8.1	183	345	13.6
22-4	東住吉北 地域包括支援センター	1	1.0	2	2.0	1	1.0	4	4.0				1.0	1.0	0.6	5.6	92	255	9.3
23-1	平野区 地域包括支援センター	1	1.0	2	1.5	2	2.0	5	4.5				1.0	1.0		6.0	100	505	6.6
23-2	加美 地域包括支援センター	1	1.0	2	2.0	2	2.0	5	5.0			0.9	2.4	3.3	0.7	9.0	182	290	2.4
23-3	長吉 地域包括支援センター	1	1.5	3	2.0	2	2.0	6	5.5				5.1	5.1	1.0	12.1	278	480	10.7
23-4	瓜破 地域包括支援センター	1	1.0	1	1.0	2	2.0	4	4.0				4.0	4.0	1.0	9.0	142	285	3.3
23-5	喜連 地域包括支援センター	1	1.0	3	1.0	1	2.0	5	4.0				3.0	3.0	0.5	8.5	279	268	6.8
24-1	西成区 地域包括支援センター	1	2.5	4.8	3.0	3	3.0	8.8	8.5		1.0		2.8	3.8	1.4	14.0	363	697	13.2
24-2	玉出 地域包括支援センター	2	1.0	1	1.0	1	2.0	4	4.0		0.8		2.4	3.2	0.5	7.7	146	389	7.3
24-3	西成区北西部 地域包括支援センター	1	1.0	1	1.0	2	1.5	4	3.5		1.0		2.0	3.0	1.0	8.0	180	343	1.0
24-4	西成区東部 地域包括支援センター	1	1.0	2	1.0	1	2.0	4	4.0				3.0	3.0	0.7	7.7	157	448	3.8